

- 1: Ventura から Sequoia にアップグレードしてしまった
場合の対処方法
- 2:
- 3: 残念ながらダウングレードはできないので、選択肢は：
- 4:
- 5: (1), 「OpenCore Legacy Patcher (OCLP)」を再適用して
Sequoia のまま使用する (Sequoia のボリュームは既にあり
ますので意味が無いかも知れません)。
- 6: (2), または、アップグレードしたボリュームを削除するか SSD
全体を初期化して Ventura をクリーンインストールする。
- 7:
- 8: の二つになります。
- 9:
- 10: (1), まず、Sequoia のまま使用する場合は誤ってアップグレ
ードした“MacBook Ventura”から起動して、“OpenCore
Legacy Patcher (OCLP)”を立ち上げます。
- 11: (ただ、キーボード入力の反応が極端に遅くなってクリック
一回に反応するまで数分間待たないとならない場合もありま
すので、ログインが困難な場合は(2)の方法をお勧めします。)
- 12:
- 13: OCLP はアプリケーションフォルダに入っているはずですが、
見つからない場合は同梱のインストール用 USB メモリにも
入っています。
- 14: OCLP を立ち上げると、新しいバージョンがあった場合はア
ップデートを促されるので、可能ならアップデートしてくだ
さい。
- 15: 操作上などの理由で難しい場合は、そのままキャンセルして

ください。

- 16: OCLP のウィンドウ右上の“Post Install Root Patch”をクリックして Sequoia 用のドライバ類をインストールします。
- 17: 再起動すればキーボードも使えるはずです。
- 18: OCLP のアップデートをキャンセルしていた場合は、アップデートしてから再度“Post Install Root Patch”を適用してください。
- 19:
- 20: (2), Ventura を使用されたい場合は、同梱のインストール用 USB メモリから起動して Ventura をクリーンインストールします。
- 21: 具体的には、USB メモリを装着して電源ボタンを押し、“option キー”を押し続けます。
- 22: 起動ディスクを選ぶための「ブートチューザ」の画面が表示されたら“Install macOS Ventura”をクリックして“enter”キーをクリックします。
- 23: macOS 復旧ユーティリティが表示されたら“ディスクユーティリティ”を選んで立ち上げます。
- 24: ディスクユーティリティの“表示”メニューから“すべてのデバイスを表示”させます（デフォルトでは“ボリュームのみを表示”になっています）。
- 25: 今回誤ってバージョンアップされたボリューム“MacBook Ventura”を選択して消去します。
- 26: または、マイナスボタンで削除してプラスボタンで新規にボリュームを追加しても結構です。
- 27:
- 28: 元々入っていた MacBook Sequoia や MacBook Sonoma

を今後使用する予定がない場合は、ボリュームではなく、デバイス全体を消去すると完全な初期化ができます（Sequoia へのバージョンアップも表示されないなのでこの方が安全かも知れません）。

29:

30: その後、ディスクユーティリティを終了して新しいボリュームに macOS Ventura をインストールしてください。